

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成22年6月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受 付 時 間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月1日
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

情報の大切さ

宮内 文久

愛媛労災病院 副院長

日本診療情報管理学会 国際疾病分類委員会 委員
愛知会場 基礎課程(臨床医学各論Ⅶ) 講師

私は診療情報管理士通信教育のスクーリングで周産期の講義を行っていますが、その度に思い出すのは私が受講生だった平成17年3月、福岡でのスクーリング中に地震(福岡県西方沖地震)に遭遇したことです。講師の先生は演壇を飛び降り、私達は机にしがみつき、不安と恐怖を全員で共有しました。新幹線で四国に帰ろうにも、駅員さんが「いつ列車が発車するかわからない。「のぞみ」か「ひかり」かもわからない。とにかく来た列車に乗ってください。」と繰り返すばかりで、正確な情報の大切さを痛感しました。

ところで、診療情報管理士が扱うのはまさにこの“情報”であり、情報の大切さを身近に感じているのが診療情報管理士だと思います。さて、インターネット上で最近話題になっているのが、ツイッターです。個々のユーザーが「ツイート(つぶやき)」と呼称される短文を投稿し、ゆるいつながりが発生するコミュニケーション・サービスで「ミニブログ」「マイクロブログ」といったカテゴリーに分類されます。この日常生活にとってさほど重要とは思われないツイッターを、Googleは全て保存することにすると報道されました。このことは私達の診療情報をめぐる事情ときわめて類似していると考えられます。診療情報の一つ一つは玉石混淆で、まるで日常生活のつぶやきのように意味をなしていませんが、整理整頓することによって光り輝く情報の宝庫に変化していくのです。子宮筋腫は漿膜下筋腫であれ筋層内筋腫であれ症状はほぼ同様で、手術適応や手術術式にも差異は無く、細かく分類する必要性は全くありません。しかし、LHRH類似薬の治療効果には差があるとの報告もあり、漿膜下筋腫と筋層内筋腫とを分類することがいつか意味を持つてくるかもしれないのです。

医療機能評価の受審に際しても、診療記録の管理つまり情報の取り扱いについては以下のような評価項目があります。

4.15.2.1 診療記録が必要時に迅速に提供されている

- ①一患者一ID番号により診療記録が一元的に管理されている
- ②迅速に検索でき、迅速に提供できる
 - 見やすい整然とした保管、設備・機器の活用
 - 病名や手術名などの特定条件による検索

4.15.2.2 診療記録管理業務が適切に実施されている

- ④病名、手術名などのコード化が実施され、必要な症例データベースの作成や症例登録の情報整備が行われている
 - 診断名・手術名・処置名は、ICD-10、ICD-9-CMなどの標準的なコード体系を用いたコーディングが望まれる
- ⑤必要な統計が作成され情報が提供されている
 - 科別・疾患別患者統計、手術統計、科別・疾患別平均在院日数など

これらの項目は、機能評価の受審に関係なく、診療情報管理士の仕事や役割として大事なことであり、診療情報管理士は診療情報の管理を通じて医療の安全に寄与し医療の質の向上に貢献することが大切だと思います。